

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年4月21日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0872000948		
法人名	株式会社 キュート		
事業所名	グループホーム たんぽぽ	ユニット名	1F
所在地	〒305-0861 茨城県つくば市谷田部3393-1		
自己評価作成日	平成21年11月1日	評価結果 市町村受理日	平成22年4月5日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報	まだありません
------	---------

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成21年12月3日	評価確定日	平成22年3月25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

思いやりと笑顔、一人ひとりの生き方を大切に、地域交流に参加する！を理念に利用者さんがその人らしい生活を送れるよう職員全員で取り組んでいます。
地域の一員として自治会に入会させていただき、カン拾いや地区のお祭りになどに参加させていただいたり、施設行事には地区の方にお声かけし利用者、職員ともども地区の方々とのふれあう時間を大切にしています。
また、利用者さんの楽しみの一つとして色々なクラブ活動を行ったり、ドライブ、買い物、食事など外出も度々でかけたりしています。
看板犬エル！もいます。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

自治会に加入し回覧で地域の情報を得るとともに、事業所発行のたんぽぽ通信を地域に配付し、理解を深めてもらうことに努めている。
近くの24時間営業の企業や床屋から災害時の夜間協力の賛同を得ている。
地域の行事が少なくなっていく中で、事業所の納涼祭を地域の祭りとして開催することや利用者のクラブ活動の作品展を地域の文化祭として開催することを民生委員などの地域の人々と話し合っている。
事業所は筑波大学の認知症高齢者活動プログラム開発研究に協力するほか、専門学校の実習生を受け入れている。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関、フロアーに理念を張り出している。毎朝、職員申し送りの後、出勤者全員で唱和し、理念を頭に入れた仕事に取り組むようにしている。	「思いやりと笑顔を忘れず一緒に過ごします。一人一人の生き方を大切にします。地域の人たちの交流に参加します。」を理念とし、フロアに掲示するとともに職員は毎朝唱和し、実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会に入会し、地域のボランティア活動など参加させていただいている。事業所の行事などの呼びかけも回覧板を利用し伝えている。	自治会に加入し清掃活動や地域の祭りに参加するほか、地域の人々に事業所の行事への参加を呼びかけている。事業所が季節ごとに発行している「たんぼぼ通信」を地域の人々へ配付し、理解を深めてもらうよう努めている。	地域の行事が少なくなっていく中で、事業所は新たに地域の人々と一緒にできる行事を話し合っているため、実現することを期待する。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議時、話し合いをしたり、定期的に事業所から発行している。たんぼぼ通信に認知症についてのコラムを連載しご家族、地域の方々などに伝えている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は、区長、地域の方、ご家族、市職員などに参加いただき、3ヶ月に一度開催している。会議の中で利用者さんの状況や、事業所の取り組み状況などを報告し、意見交換を行いサービス向上に努めている。	運営推進会議は家族等や地域の人々、市職員、民生委員、施設長、管理者で3ヶ月に1回開催している。会議では評価結果の報告をするほか、事業所で行われる救急救命講習会への参加を呼びかけたり、災害時の協力依頼をしている。家族等の希望を受けAEDを設置するなど出た意見等を運営に反映させ、サービスの質の向上に活かしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	月に1回開催の地域密着型サービス連絡会に積極的に参加し、行政からの情報を得るとともに、意見交換を行い協力関係を築いている。	市担当者と連絡を密にするとともに事業所から情報提供をしたり、市職員に運営推進会議へ出席してもらうなど協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、事業所のカンファレンスで話し合ったり、勉強会に参加したりし、理解を深めている。事業所内には、トイレ壁や、職員室内にポスターを貼り職員全員がいつでも意識できるよう取り組んでいる。1Fは入り口にセンサーを取り付け利用者の出入りに気をつけている。2F、3Fは階段があるため利用者、ご家族に説明同意をえて施錠しているが外出の希望があればその都度対応している。	身体拘束をしない介護のための指針ポスターを職員室やトイレの壁に貼り、職員の意識付けに役立てている。職員は市で年に数回開催される事例検討会に参加したり、カンファレンスや勉強会などで話し合い理解を深め、身体拘束をしないケアを実践している。1階玄関はセンサーを設置し施錠をしていないが、2階3階は階段があり危険なため、家族等の承諾を得て施錠をしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について事業所のカンファレンスで話し合いをしたり、つくば市で行う勉強会に参加し理解を深め、職員全員で注意を払い、防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	勉強会に参加し自立支援、権利擁護について学び、事業所で話し合いを行い活用出来るよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約時、利用者、ご家族と話し合いを持ち、不安、疑問を尋ね、理解、納得を図っている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱の設置や、独自に事業所でアンケートを作り職員、事業所に対しての評価をしていただき、ご意見、要望なども伝えて頂いている。来所持、会議出席時、来電時、いつでも意見を聞くよう心がけ運営に役立っている。	事業所は運営推進会議で家族等の話を聴いたり、面会時に家族等が意見や要望を言い易いような雰囲気づくりに努めている。 意見箱を設置するとともにアンケートを実施し、家族等の要望を汲みあげ、出た意見等を運営に反映させている。 重要事項説明書に第三者機関の苦情相談受付窓口を明記している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	随時、話し合えるような雰囲気作りに心がけている。職員全員で行うカンファレンスでも意見を聞くようにしているが、直接意見を言い難いことがないように、ユニットリーダーが意見を聞きこともある。	職員の意見や要望はユニットリーダーが聞き、解決ができるように取り組むほか、カンファレンスで話し合い運営に反映させている。 ヒヤリハット報告書は職員の目に付くようタイムレコーダーの横に貼ってみてはどうかとの提案を受け実践するなど、管理者は職員の意見等を運営に反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	定期的に賃金の見直しを行っている。 職員が向上心を持てるよう役割給や、研修時、資格取得時の費用補助などもある。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修や、勉強会の通達をし職員の数に応じ参加を促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	つくば市地域密着型サービス連絡会で、年数回勉強会が行われている。職員皆積極的に参加しており、情報交換の場にもなっている。近隣の施設など、相互訪問し職員の意識を高めるなどの取り組みをしている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用前に本人と面接をし不安なこと、要望など、耳を傾けて聞き取る。施設内を見学していただいたり、要望があれば1～2日の体験入所も利用していただいている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族が、困っていること、不安なこと、要望などをよく聞き丁寧な対応に心がけている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	面談し、話を聞きながら、必要なサービスを見極め対応している。必要であれば他の協力機関と連携し、より良いサービスが利用できるような対応に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	掃除、洗濯、食事作り、草取り、野菜作りetc,利用者さんのできることを無理強いせず、職員と一緒にしている。利用者さんの得意分野があれば相談したり、意見を聞きいたりしてよい関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	病院の受診や、利用者さんの買い物など基本的にはご家族にやっただくようお願いし施設に定期的に来ていただいている。ご家族の都合が悪い場合は施設職員がその都度対応している。電話の利用はいつでも出来、時々近況報告の手紙なども郵送している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時間はきめてあるが、いつでも面会に来ていただけるよう対応している。本人の希望があれば外出したり、施設の行事の案内を送り、遊びに来ていただいたりしている。手紙、はがき、電話なども利用し関係が途切れないよう支援している。	職員は利用者の友人がいつでも面会に来てもらえるよう働きかけている。 職員は利用者が床屋や煙草屋など馴染みの場所へ出かけられるよう支援するとともに、電話をかけたり手紙が出せるよう、これまでの人や場所との関係が途切れないよう努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者さん同士車椅子を押してあげたり、ボタンをかけてあげたり、トイレの場所を教えてあげたりなど、お互いに協力している姿が見られる。職員も見守る中でのことであるが、お礼の言葉や、労いの言葉をかけよい雰囲気が続けられるよう支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	ご家族、本人の状況を理解、把握し、その人にあった対応の仕方、病院、施設の紹介など支援に努めている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	利用者さんが落ち着いて話ができる雰囲気作りを心がけている。職員が担当利用者さんを持つことで日常聞き出せない思いや、希望などさらに深く探り、利用者さんの希望を早めに叶えてあげることが出来るよう対応している。	職員による担当者制をとっており、話しやすい雰囲気づくりや人間関係づくりに努めている。 職員は利用者の言葉や表情、行動など日々の様子から思いを把握するよう努め、利用者一人ひとりの意向にそった支援をしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人、ご家族から聞き取りをし、生活歴、馴染みの暮らし方、サービス利用の経過の把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	温度表、経過表、業務日誌などに各人の現状を記録し変化に対し早急に対応できるように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	モニタリング時、家族に参加していただけるよう声かけもしているが都合が合わず難しい担当者、シフトリーダー、ケアマネ、管理者など参加し定期的にケアプランの見直しをしている。ケアプランをご本人、ご家族に確認していただき納得した上でサインを頂いている。	介護計画はアンケートで家族等の意見や要望を聴くとともに定期的に作成している。 家族等にモニタリング時の話し合いに参加してもらえるよう日程を調整するとともに、遠方などの理由で参加できない家族等へは作成した介護計画を郵送し同意を得ている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子、変化を個人ごとに経過表に記録し職員全員で情報の共有に努めている。日々の経過を元にケアプランの見直しに役立っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者の家族に代わり通院支援を行うほか、リハビリの通院などにも状況に応じて対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近くのスーパーに買い物や、図書館、カラオケ店に行ったり利用者さんの希望に応じて対応し、気分転換を図りながら楽しみを見つけて生活していただいている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	事業所の提携病院は決まっているが、本人、ご家族の希望を大切に、状況に応じその都度、適切な医師に受診している。かかりつけ医には、状況の変化を報告し、適切な医療を受けられるよう支援している。提携医、かかりつけ医の定期的な往診もある。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医への受診を支援している。協力医療機関やかかりつけ医の定期的な往診があり、適切な医療を受けられるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	現在、施設内に看護師はいないが、体調の変化に応じ、提携病院の看護師や医師に相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院の際は定期的に面会し、状態や様子を確認している。、医師や、看護師などとも情報交換をしより良い関係作りに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化した場合や、終末期のあり方について、本人、家族と話し合い、家族の意向や、主治医の意見を確認しながら、方針を共有し支援に取り組んでいる。	重度化した場合や終末期に向けた事業所の方針を職員に文書で周知している。事業所は看取り介護を行う方向で話し合いをしているが、指針やマニュアルを作成するまでには至っていない。	利用者が重度化した場合でも安心して暮らし続けられるよう、指針やマニュアルを作成するとともに、看取り介護に向けて体制を整備することを期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年に1度は職員全員で救命講習会を受けており、急変や事故発生時に備えて対応できるように訓練している。カンファレンス時にも対応の仕方についておさらいしている。本年度より、AEDも設置された。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に1～2回利用者、職員全員で避難訓練を行っている。自治会を通して地域の方々にも協力をお願いをし了承を得ている。	消防署指導のもと避難訓練を年1回から2回実施している。災害時に協力が得られるよう自治会を通して地域住民に依頼しているが、避難訓練に参加を得るまでには至っていない。近隣の床屋や24時間営業の企業から夜間協力の賛同を得ている。スプリンクラーを設置したり全職員がAEDの講習を受けるなど非常時に備えた取り組みをしている。	運営推進会議などで地域住民に避難訓練に参加してもらえよう、引き続き働きかけを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉使い、態度、接し方に気をつけ誇りや、プライバシーを尊重した対応に心がけている。	職員は利用者と目線を合わせながら対応をしている。 利用者の行事への参加は無理強いしないよう心がけている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日常の会話を大切にし、利用者さんが思いを話しやすい雰囲気作りに心がけている。言葉遣いや、話す速度なども気をつけ自己決定できるよう各人に合わせ対応している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースを大切にし、無理強いせず、希望にそった毎日が送れるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	着替えのときは、ご本人が気に入った服を着ていただけるよう声かけし選んでいただいている。選択が難しいようであれば相談にのり一緒に選んでいる。髪を整えたり、お化粧品をしたり、などその人らしいおしゃれが出来るよう支援している。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材を刻んだり、味見をしていただいたり、作り方の指導を仰いだりと色々な形で食事作りに参加していただき食事が楽しみになるよう支援している。準備や片付けも一緒に行い職員と利用者さんとの良い関係作りをしている。	食材宅配を利用している。利用者のやりたい気持ちを大切に捉え、野菜切りや皮むき、配膳、後付けなどを利用者と職員が一緒にしている。宅配業者を3ヶ月から4ヶ月毎に変え、変化のある食事を提供している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	各人の温度表に摂取量の記録をしている。食材会社を利用しており、量やバランスなども管理していただいている。、体調の変化や各人の希望に対応しおかゆや、刻み食、とろみをつけるなど一人ひとりに応じた支援をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後、職員が声かけし口腔ケアを行っていただいている。一人では難しい方は職員が付き添い、声かけしながら出来る限り自分で磨いていただきうまく出来ない部分は職員が介助している。入れ歯のかたは、夜間洗浄液を使用し清潔保持に努めている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各人の排泄パターンを観察、記録し、利用者、家族、職員で話し合い各人にあった排泄の支援を行っている。	排泄記録から利用者一人ひとりの排泄パターンを把握し、早目に声をかけトイレ誘導をしている。日中はリハビリパンツを使用している利用者が多い。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日、午前のおやつ前に利用者さん、職員で体操を行っている。食物繊維、野菜、水分などを多くとっていただくように献立にも気をつけているが、散歩なども積極的に行うようにしている。主治医にも相談し、薬を処方していただく時もある。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴曜日は決めてあるが、個人の体調や希望にあわせ入浴できるようにその都度対応している。	利用者の体調や希望にそって1日おきに入浴ができるよう支援している。 入浴を嫌がる利用者にはタイミングを見ながら声をかけ、入浴ができるよう支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者、ご家族と相談し、安全で安心して眠ることが出来るよう個人にあった寝具を使用していただくよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	温度表で服薬の漏れがないようチェックをしている。服薬していただく時は、職員、利用者さんともに名前、日付を確認後、服薬していただくよう気をつけている。個人の服薬している薬のファイルを作成し、いつでも確認できる状態になっており、往診時にも体調の変化にあわせ主治医に相談できるよう記録している。カンファレンス時に、薬剤師を招いて勉強会を開き職員全員で薬について理解を深め支援している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者一人ひとりの持っている力に合わせて役割分担をしている。家事、畑仕事、習字、俳句、編み物、カラオケなど各人にあつた楽しみを見つけ気晴らしの支援をしている。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は出来る限り、外出希望者を、散歩、ドライブ、買い物などに連れ出している。利用者の特別の希望があれば、家族に相談し希望が叶うよう支援している。	利用者は毎日散歩に出かけるほか、近所の煙草屋やコンビニ、床屋、図書館、カラオケハウスに出かけている。家族等の協力を得ながら利用者が季節ごとの花見や名所見物などに出かけられるよう、車椅子対応の自動車を利用し支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	基本的には施設管理であるが、各人に応じて対応している。利用者によっては自室にて管理している利用者さんもいる。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の要望があればその都度対応している。自分で電話をかけたり、手紙を書いたり出来ない利用者さんには職員が取り次いだり、利用者さんの言葉を代筆したりしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	トイレや、洗面所、居室など、分かりやすいように名札などを貼っている。日常過ごしているホールは、季節ごとに飾りつけをしたり、光、音、温度など常に意識し利用者さんの意見を取り入れ配慮している。	共用空間の適温管理と清潔維持に努めている。 クラブ活動の作品や季節の花々が飾られ、利用者は温かい雰囲気の中で穏やかに過ごしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールに畳のスペースを作り利用者さん同士交流の場として時々利用していただいている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	仏壇や、使い慣れたこたつ、タンスなどご本人の好みのものを持ち込んでいただき、居心地よく安心して過ごせるよう支援している。	利用者は畳やフローリングの部屋に仏壇や炬燵、鏡台、ソファなどの物品を持ち込み、生活スタイルに合わせて思い思いの居室づくりをしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	建物内部は手すりが付いており安全で自立した生活が送れるように支援している。玄関にはベンチを置き安全に靴の履き替えが出来るよう改善した。ホールにも洗面台を設置した。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○ 1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○ 1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○ 1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○ 1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="radio"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="radio"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="radio"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム たんぽぽ

作成日 平成22年4月5日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		重度化や終末期のあり方について事業所内で話し合いはしていないが、具体的な指針、マニュアルは作成していない。 現在、看護師も不在である。	終末期のあり方について、事業所の方針を明確にし体制を整え、チーム支援に取り組んでいく。	正看護師の募集を出し人員を確保する。事業所としての指針、マニュアルを作成する。 本人、家族の意向、主治医の意見を再確認する。	1～2ヶ月
2		近隣の事業所、地域の方々に災害時、緊急時の協力、賛同は得ているが地域住民をまじえての避難訓練は行われていない。	地域の方々との協力体制を築き、災害時、緊急時の連携を図る。	運営推進会議にて地域、家族の方と具体的に対応の仕方など話し合いをする。 地域の消防団や近隣の方へ訓練の参加を呼びかけ一緒に行う。	本年度中
3		自治会に加入し地域事業などへ少しずつ参加できるようになっているが、地域の方々との交流がまだまだ少ない。地域の方、利用者さんがつながりを感じられるよう話し合い、一緒にできるよう計画をしていく。	利用者さんと地域とのつながりがとぎれないよう話し合いを持ち交流を深めていく。	今後も運営推進会議などを通し、話し合う時間を作り、一緒にできることを計画、実行していく。 事業所の行事なども地域の方々へお知らせし、参加を呼びかけていく。	本年度中
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。